

# なますて



नमस्ते ※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。

## るんぴにい美術館、岩手日報文化賞受賞！！！！

前回のお盆号で社会福祉法人光林会が創立50周年を迎えたことを書きました。前住職が昭和43年に障がいのある子供たちや、困っている家族の力になりたいと児童施設るんぴニー学園を立ち上げて半世紀になります。これも偏に檀信徒の皆様はじめ沢山の方々のご指導とご支援に支えられてのことと、心より感謝申し上げます。

この節目の年に、第71回岩手日報文化賞(学芸部門)にるんぴにい美術館が選ばれました。社会福祉法人が学芸部門で文化賞を受けるのは、70年の歴史で初めてのことであり、文化的な施設でありたいと願ってきた私としては、大変有難い受賞であり、前住職もお浄土で喜んでくれていることと思います。

るんぴにい美術館がオープンして10年の実績ということもありますが、法人の取り組みとして、30年前に陶芸用の穴窯をみんなで造り、創作活動を始めたこと、そこから絵画・織物・音楽等に広がり、長年にわたり障がい者の表現活動の拠点として、その魅力を発信し続けてきたことを評価されたとのことで大変うれしいことです。

星が丘の花巻東高校の向かいにある小さな美術館ではありますが、ギャラリーの他に喫茶軽食・スイーツも楽しめますし、2階のアトリエでは制作している作家さんたちとの交流も出来ます。どうぞお気軽に遊びにお出で下さい。(水曜日休館)

この名誉ある賞に恥じないよう、「いのちの美術館」として、「命の輝きとの出会い」の場を提供する美術館として、これからも歩んで参りたいと思います。

今後とも変わらぬご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

合 掌

## 除夜の鐘 & 元朝参り

光林寺では大晦日の23:55頃から0:30頃までにお参りいただいた皆様に除夜の鐘をついていただいています。例年、大変冷え込みますので、暖かくしてお参り下さい。なお、鐘突き参加の方には飲み物を用意しております。どうぞ、ご参加下さい。

また、ご希望の方には御札(阿弥陀如来・熊野権現)を正面玄関にてお授けしております。(志納¥2~3,000)

※積雪・凍結が予想されます。お気を付けてお越し下さい。



# 西霊園整備工事について

去る8月20日に西霊園合同搬遣(はっけん・魂抜き)供養が行われ、遂に『西霊園整備事業』が始まりました。この事業は開山塔の移転新築、墓地区画整備を中心に永代供養塔建立、ルンビニー供養塔建立、ペット供養塔建立、駐車場造成等を行うものです。先代義覚住職の悲願であり現住職が初めて手掛ける大事業でもあります。本事業を行うにあたり総代をはじめ檀信徒の皆様のご理解と多大なるご寄付(¥2,544,000)を賜りましたこと、衷心より御礼申し上げます。

現在、既存墓地の移動、樹木の伐採、土地造成、測量等が行われており、2019年(平成31年)7月頃には完成する見込みです。

尚、新規墓地申込み、永代供養申込みを随時受付しております。詳しくは光林寺までご相談下さい。



↑ 合同搬遣供養



↑ 完成予想図 (全景)



↑ 現況 (H30.12.7)

## 平成28年以降の篤志寄付者

### ◎西霊園整備費用として

中寺林	似内	文良	様	¥1,000,000-
南寺林	鎌田	和広	様	¥1,000,000-
北寺林	故高橋	ハヤ子	様	永代供養塔観音像(300万円相当)

### ◎仏具・境内整備費用として

八日市	高橋	弘子	様	¥500,000-
南万丁目	高橋	進	様	¥500,000-
二枚橋	佐賀	忠臣	様	¥500,000-
	小原	拓	様	
大畑	鎌田	稔	様	¥500,000-
		祐一	様	
北寺林	高橋	憲明	様	¥200,000-
二枚橋	後藤	剛	様	¥200,000-
八幡	長澤	勝美	様	¥1,000,000-
好地	田村	祐一	様	電気工事一式

### ◎寄贈

好地	滝浦	輝夫	様	本藍染暖簾・洒水器入れ
----	----	----	---	-------------

誠にありがとうございました。衷心より御礼申し上げます。

# 秋季開山忌

去る、11月23日、恒例の秋季開山忌が行われました。当日は肌寒い日でしたが、祝日と言うこともあってか、たくさんの方に参詣いただきました。一般参拝者は約160名程でした。

今回の塔前(当番)の佐々木久蔵総代(八日市・富沢)・高橋正芳総代(糠塚・大興寺)・川村厚総代(二枚橋・大畑)の組下総勢約100戸のご協力により無事開催することができました。

また当日は、朝から塔前の御婦人方総勢40名程の皆さんに約200食のおいしい食事の支度をしていただきました。法要のお手伝いを頂いた県内の和尚様方にも「大変美味しい」と評判でした。本当にありがとうございました。これだけ檀家の皆様にご協力いただいて成り立っている開山忌は他には、まずありません。大変なご面倒をおかけしているとは思いますが、どうぞ、これからもご協力いただきますようよろしくお願い致します。

また、今回も30名の御詠歌講員の皆さんが法要前に30分ほど御詠歌の奉詠をしていただきました。誠にありがとうございます。

今回は東北学院大学工学部居合道愛好会(代表河野幸夫氏)三名の奉納演武が行われました。時宗宗祖一遍上人は今回演武していただいた河野さんの先祖にあたります。真剣を用いた緊張感ある演武に本堂内はただならぬ空気に包まれました。私も終わった頃にはぐったり(；ロ)なかなか貴重なものを見させていただきました。



↑ 御詠歌奉詠



↑ 居合・奉納演武



↑ 食事風景

## 平成31年春季開山忌のご案内



日時 平成31年4月23日(火)

午前 9時50分 御詠歌奉詠

午前10時30分 ご法話

午前11時00分 開山忌法要

※次回の春季開山忌の塔前(当番)地区は

八幡・嶋岡 地区の皆様です。

ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 御詠歌会活動報告

### 『七き霊は千尋の海に鎮もりて栄えゆく代の柱たるらん』

この歌は昭和三陸地震(昭和8年3月3日発生)の翌年に当時の岩手県知事石黒英彦氏を中心に作られた「慰霊の歌」です。故三井義覚前住職と光林寺御詠歌会50余名が東日本大震災三回忌供養の為、平成25年5月26日に陸前高田市小友町三日市仮設住宅を訪問し、この歌を御詠歌の節に乗せ広田湾に向けて奉詠しました。

昭和三陸地震当時の人々は地震の体験を歌に残して語り継ごうとしましたが、同じ様に未来へ伝え行く手段として三日市地区の女性たち10名程で作り始めたのが「一本松しゅう布巾」でした。その活動が公益財団法人ソロプチミスト(※)日本財団に認められ、財団の年次贈呈式会場での販売の為、1,000枚もの注文が舞い込みました。しかし、作り手の高齢化や仮設住宅からの退去が進み現在の活動は数名で行っていました。そこで5年前に訪問したご縁から光林寺御詠歌会に協力の依頼があり会員や家族の有志がお手伝いをして下さり、無事1,000枚の布巾を納入することが出来ました。布巾はものの2時間あまりで完売となりました。会員の皆さんも「5年前に訪問したきりになっていたの、少しでも役に立てた事が嬉しい。」とおっしゃっていました。

今回の布巾作成は、あの恐ろしい黒い波を決して忘れること無く次世代へ語り継ぐ為に残った「奇跡の一本松」を多くの人々の心に深く刻む一助となることでしょう。

祈りの鈴の音が響くよう、未来の柱になれるよう、私たちも震災の記憶を語り継いでいきましょう。

※国際ソロプチミストとは、理解促進、提唱、活動を通じて女性と女兒の生活と地位を向上させるための奉仕活動を行う女性の世界的組織のことです。



↑ 三回忌慰霊奉詠



## 誕生まいりのご案内



光林寺では小学生以下のお子様を対象にした『誕生まいり』を行っております。『誕生まいり』は光林寺本尊様にお子様の誕生を報告し、健やかにお育ていただくことを御祈願する法要です。

近年、参加者が無く開催出来ておりません。是非、ご参加をお願い致します。

**日時** 4月28日(日) 10:00~

**場所** 光林寺本堂

**祈願料** ￥1,000- (記念品含)

※申込みは直接、光林寺までお願い致します。

